

十二支のはじまり

① 昔々のお話です。神様が森の動物達を集めて言いました。

「お正月の朝、わしの家まで来なさい。早く来た者から順に12番まで、一年ごとに動物の大將にしてあげよう」

動物達は皆自分こそが一番になるのだと大盛り上がりです。

②そこに猫が遅れてやってきました。

「やあネズミくん。神様はなんのお話をしてたんだい？」

「ああ猫くん。なんでも、お正月の、次の日の朝に神様の家に早く来た動物を、一年ずつ動物の大將にしてくれるそうだよ」

ネズミは、イタズラをして、猫にウソを教えました。

「そうなんだ！ネズミくん、教えてくれてありがとう」

ウソとも知らず猫は帰っていきます。

③さて、お正月はもう明日。動物たちはそれぞれ明日に備えることにしました。

「僕は足が遅いから、早めに出発しよう」

真面目な牛は、そう言って夜のうちに出発することにしました。

それを見ていたネズミは

「しめしめ」

と言って、こっそり牛の背中に乗りました。

④お正月の朝になりました。

神様の家の前に、昨日の夜に出発した牛が到着しました。

「やったあ、僕が一番だ！」

牛がそう思った瞬間、ぴょん！と牛の背中からネズミが飛び降りて、はじめにゴールしました。

こうしてネズミが一番、牛が2番になりました。

⑤次に足の速いトラとウサギがやってきて、トラが3番、ウサギが4番になりました。

⑥次に辰がぴゅーんと空を飛んでやってきて、5番になりました。

によろよると素早く走ってきたヘビは、6番になりました。

⑦仲良しの馬と羊は順番にゴールして、7番が馬、8番が羊になりました。

⑧仲の悪いサルと犬は競走中も喧嘩ばかり。

⑨見かねたトリが2匹の間に入って喧嘩を止めました。

こうしてサルが9番、トリが10番、犬が11番になりました。

⑩最後にイノシシが慌ててやって来て、12番になりました。

こうして、ネズミ、牛、トラ、ウサギ、辰、ヘビ、馬、羊、サル、トリ、犬、イノシシが順番に動物の大將となることになり、これが十二支となりました。

⑪さて、お正月の次の日、猫が神様の家にやってきました。

「神様！やって来ました！」

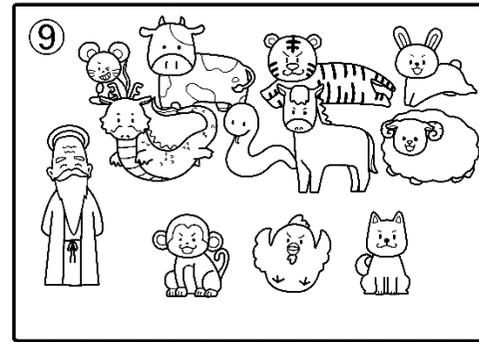
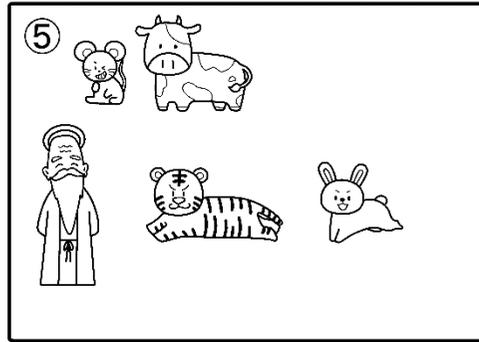
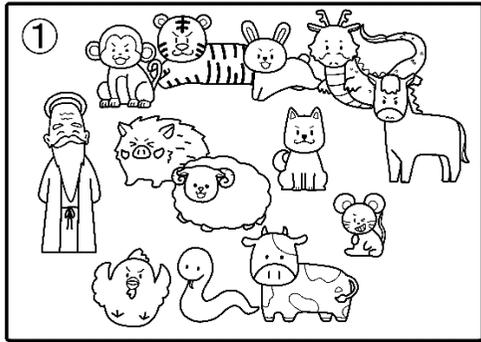
「おや、競争なら昨日終わったぞ」

「ええ！？ネズミくんめ、騙したな～！」

⑫猫はネズミが嘘をついたことに気づき、とっても怒りました。

それからというもの、猫はネズミを見かけると追いかけるようになったといいますよ。

おしまい



※猫、ネズミ、犬、サルは裏面あり

左の図は一例です。

パネル台の大きさなどに応じて、自由にアレンジしてみてください。

